

## 展示ジオラマ概要

○ジオラマ「カーボンニュートラルを実現する製油所の将来像」



### [左側 - 現在]

現在の製油所は、主に化石燃料である原油を精製し、ガソリン等の石油製品を生産しています

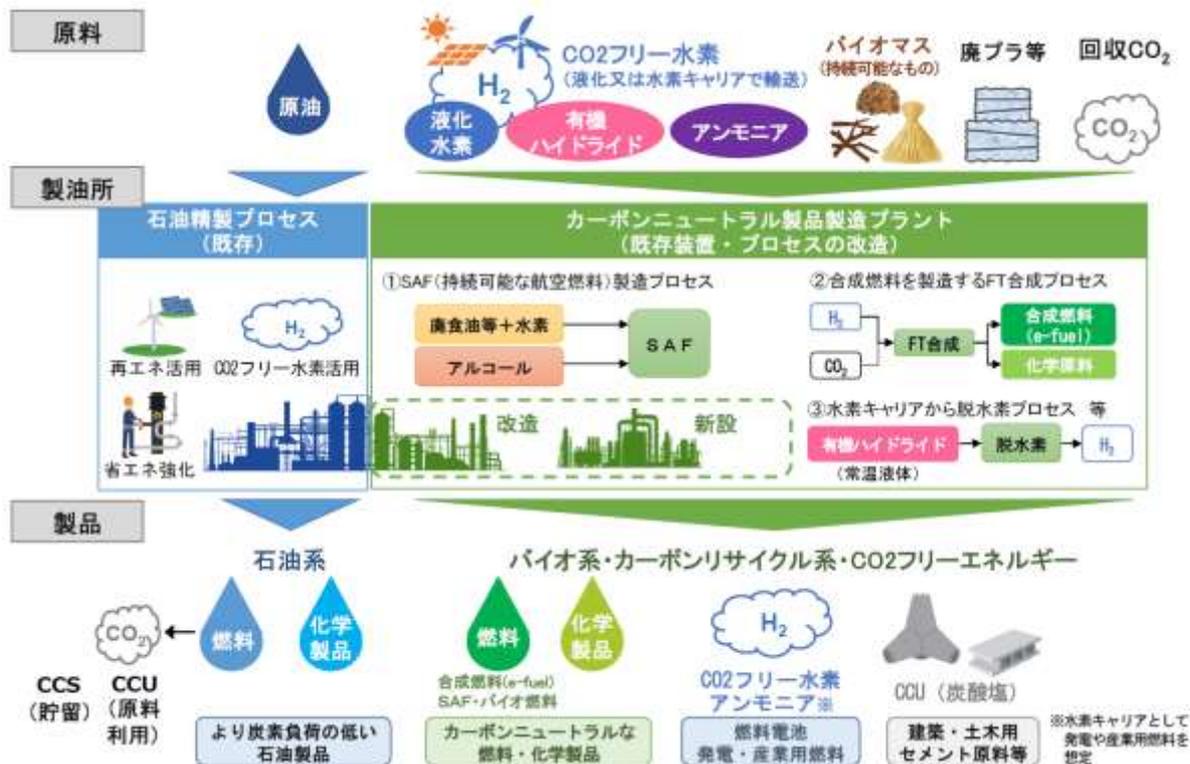
### [右側 - 未来]

2050年に向けた将来の製油所は、既存設備の活用に加えて必要な精製プロセスの改造なども図りながら、CO<sub>2</sub>フリー水素、回収CO<sub>2</sub>、バイオマス等も原料として活用し、SAFや合成燃料等の「カーボンニュートラルな石油製品」を製造する拠点を転換していくことを目指しています。

展示しているジオラマでは、SAFや合成燃料が生産された後、消費時に排出されるCO<sub>2</sub>を回収し、合成燃料の原料とするカーボンリサイクル等の流れを、LED電飾を用いて示しています。

ジオラマ本体寸法： W1146×H695×D650（アクリルケース含む）

参考 『カーボンニュートラルを実現する製油所の将来像』  
石油業界のカーボンニュートラルに向けたビジョン掲載資料



展示ジオラマは、「石油業界のカーボンニュートラルに向けたビジョン」に掲載した「カーボンニュートラルを実現する製油所の将来像」の図をベースにしたものです。ビジョンの詳細は下記をご覧ください。

○石油業界のカーボンニュートラルに向けたビジョン(目指す姿) 2022年12月改定

[https://www.paj.gr.jp/enviro/carbon\\_neutral](https://www.paj.gr.jp/enviro/carbon_neutral)

以上